



# 8月号 花とみどりの相談所ニュース

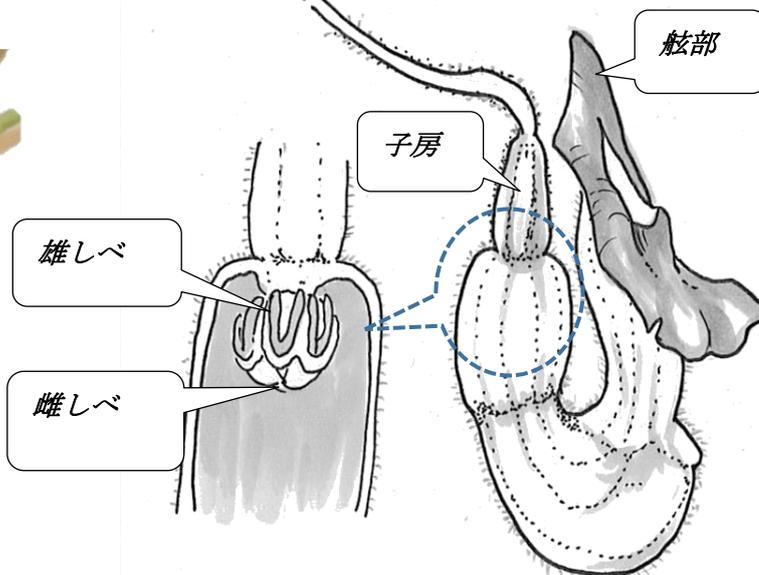
令和4年（2022年）8月1日発行

## 【 アリマノウマノスズクサ 】

ウマノスズクサ科のもとになったウマノスズクサがつる性の草本に対して、アリマノウマノスズクサは木本のつる性植物になります。（アリマノウマノスズクサはオオバウマノスズクサの変種とする見方もあります。）ウマノスズクサ類は黒くて美しい羽をもつジャコウアゲハの食草として有名です。花は楽器のホルンのような形で、初めて見た方は食虫植物かと思うようです。豊島の相談所にはアリマノウマノスズクサがあり、毎年5～6月に2～4センチの花をつけてくれます。花は左右相称で、花被はくっついて筒状になっており、途中で強く曲がって先の方で広がっています。広がっているところは舷部(げんぶ)と呼ばれ、濃紫褐色に色づいています。筒状の花被の基部には花柱を包むように雄しべが6個合着しています。狭い筒の中に入った虫に花粉がくっつき、外に出た虫がちがう花に入った時に受粉されるように雌性先熟の仕組みになっています。タネができる子房はホルンの形の花の下にあり、受粉がうまくいくと2.5～5センチほどにも育って6個の稜角がある長楕円形の蒴果になります。つるから実がぶら下がる様子は確かに鈴のように見えますが、知らない人が見れば虫のサナギのようにも見えるかもしれません。

ウマノスズクサ類には強い毒性のアリストロキア酸というアルカロイドが含まれています。ジャコウアゲハの雌は卵を産むときにも毒性を含む粘液を卵の表面につけて産卵して卵を守ります。羽化した幼虫はまず最初に自分の卵の殻を食べることで、アリストロキア酸を体内に取り込みます。幼虫は葉を食べ続けることで体内に毒を蓄積し、成虫になっても捕食者から体を守ることができます。当館にはまだこの美しい蝶は来ていませんが、いつかお目にかかれることを楽しみにしています。

（文・写真 奥井里実相談員）



## 8月の花とみどりの講習会

### 【観葉植物の寄せ植え作り】

内容：観葉植物の寄せ植えを作ります  
日時：8月20日(土) 10時から12時まで  
場所：花とみどりの相談所  
講師：花とみどりの相談所相談員  
定員：24人(小学3年生以上)  
費用：1,200円  
申込：8月13日(土) 9時15分から  
先着順 電話可



画像はイメージです

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止する場合があります。

相談所の見本園では、  
ブルーベリーやトマト  
などが実っています。



緑のエプロンを着た方々は  
豊中緑化リーダー会のみなさんです

見本園見学、お気軽に  
お越しください！！

### 花とみどりの相談



<相談時間>

火曜日・木曜日の13時から16時30分まで

電話による相談も行っています。

《 8月の休所日 》毎週の日曜・月曜日と11日(木)です。

花とみどりに関する相談を受け付けて  
しています。お気軽にどうぞ！

豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曾根南町1丁目4番1号(豊島公園内) 阪急宝塚線 曾根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638